

平成28年度 第3回江田島市公共交通協議会（平成29年2月22日）

協議会議事要点録				
会議名	平成28年度 第3回江田島市公共交通協議会			
日時	平成29年2月22日（水）13時30分～14時45分			
場所	江田島市役所 4階会議室			
傍聴者	0名			
委員	県立広島大学	名誉教授	の  はら  けんいち 野原 建一	○
	広島商船高等専門学校	教授	お か や ま  ま さ と 岡山 正人	○
	江田島バス株式会社	代表取締役	は す だ  つ と む 蓮田 勉	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	す ぎ い  く み お 杉井 公美雄	×
	広島県旅客船協会	会長	に  つ た  い ち ろ う 仁田 一郎	代理出席 山本 万智子
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	た に ぐ ち  み の る 谷口 実	×
	広島県タクシー協会江能支部	支部長	い ま み や  こ う じ 今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会長	は ま な か し げ み 濱中 繁美	○
	江田島市老人クラブ連合会	会長	ふ る も と さ ね き 古本 眞機	○
	江田島市社会福祉協議会	会長	な か む ら ひ ろ ま さ 中村 博政	○
	江田島市女性会連合会	会長	し も だ と よ こ 下田 豊子	代理出席 小跡 万知子
	江田島市観光協会	会長	い と う ふ み お 伊藤 富美雄	○
	中国運輸局	海事振興部旅客課長	や な い ひ ろ し 柳井 裕志	○
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	か や は ら ひ ろ の り 茅原 裕則	代理出席 赤澤 大 齋藤 慎哉
	広島県	地域政策局 地域力創造課長	き む ら ひ ろ し 木村 洋	代理出席 杉田 信之
	江田島警察署	地域交通課長	や ま ぐ ち き よ ふ み 山口 清文	○
	江田島市	副市長	ど て さ ん せい 土手 三生	○
	江田島市	企画部長	わ た な べ た か ひ さ 渡辺 高久	○
江田島市	土木建築部長	き む ら な る ひ ろ 木村 成弘	○	
1 開 会				
事務局	開会宣言			
2 会長あいさつ				
会 長	土手会長あいさつ			

3 議 題	
(1) 地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について（資料1）	
議 長	地域内フィーダー系統確保維持計画の変更につきまして、資料1を参考にしながら、事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料1により説明－
議 長	ただいまの説明につきまして、ご質問ないしはご意見がありましたら承りたいと思います。いかがでしょうか。
委 員	<p>この資料の中で「路線バス」と「乗合バス」の2通りの表現がありますが、どちらかへ統一した方が良いのではないのでしょうか。「路線バス」という表現の方が馴染みはあるが、どちらでも良いです。</p> <p>それと「路線定期」という表現、これは大須朝夕便の部分だけに適用する表現となります。例えば他に三高や沖の方で出てくれば、あっても良いのですが、もうそこだけなので、敢えて表現しなくても良いのではないかと思います。ただ、似たようなのが沖～能美中学校間で、能美中学校の生徒が路線バスを使われるケースがあります。同じようなものがあれば残しておいても良いのですが、今のところは不要なので、無くても良いのではないかと思います。どうしてもということではないのですが、感じの問題です。</p>
事務局	<p>資料内の表現については、表1の中に「乗合バス型・デマンド型の別」とあり、そこに合わせる形で表現していますが、確かに委員が言われる通り「路線バス」という表記が分かりやすいと思うので、それが良いかと思います。</p> <p>「路線定期」を敢えて表記したというのは、事前に広島運輸支局へ相談していただき、その中でそういう表現の方が好ましいのではないかと指摘があったということです。</p>
議 長	では、路線ということで、よろしくをお願いします。 他に何かございませんでしょうか。
委 員	<p>全く参考のことですが、私は昨日、大須に行きました。そのときに、おれんじ号の時刻表が、昔のバス乗り場のバスの表示の下に貼ってありました。</p> <p>おばあちゃんが出てこられて、「デマンドタクシーをどのように乗っているのか？」と聞くと、「朝のあれはバスだ」と言うんです。書類の上でどうこうということではなくて、実際に使っている人たちはそういうことを知らないで、「あれはバス。少し大きいバスが来て、デマンドタクシーは違うものだから」と。</p> <p>そのおばあちゃんが一言、「市民ファーストの小池さんのようにやってもらわない」と言われて、私はびっくりしました。そういうことがありましたので、参考までに。</p>
議 長	他に何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは、このことにつきましては、ご了承いただいたということで、よろしくをお願いします。

(2) バスロケーションシステムの導入について（資料2）	
(3) 平成28年度歳入歳出補正予算（案）について（資料3）	
議 長	バスロケーションシステムの導入につきまして、事務局から説明をよろしくお願ひします。
事務局	－資料2・3により説明－
議 長	ただいまの資料2，資料3の両方につきまして、質問されても結構でございます。ご意見がありましたら承りたいと思います。いかがでしょうか。
委 員	デジタルサイネージの設置場所について、棧橋は屋内に置くとして、ゆめタウンはどこに設置するのでしょうか。
事務局	ゆめタウンの設置場所ですが、今はゆめタウン側と協議をしており、バスの利用者や、ゆめタウンのお客さんがよく見える場所ということで、正面に入ったところか、もしくはベンチがあってお客さんが滞留する空間の、どちらかに設置しようかということで、話をしています。まだ決定には至っていません。
委 員	要するに、室内は室内ですね。
事務局	はい、そうです。室内です。
議 長	他に…。
委 員	<p>バス運行事業者というか、当事者としての責任感も含めてですが、確認なり意見を言わせていただきます。</p> <p>いわゆる、イニシャルコスト的には1千万円ということですが、ランニングコストとしては、資料3の中でどういう見方になるのか。運営費というのが、協議会の運営費というニュアンスに取れるのですが、事業者の立場で言えば、実際に導入した後、ランニングコストがどれくらいかかるかということも、計上というか表現をしっかりとしておいて、いわゆる息の長いシステムの導入ということでないで、単発的なことだけでの判断では、経営リスク的な感じがしますので、はっきりしておいた方が良くと思います。</p> <p>デジタルサイネージはバスに乗られない方にも情報提供できますが、BUSitというのはバスを利用される方が対象となろうかと思ひます。その辺りを一緒に表現すると、いわゆる夢ばかりが先行してしまひます。あくまでも税金を使つてやることですので、その辺をしっかりと市民の方へ説明しておかないと、税金の使われ方という部分でいろんな意見が出てくると思ひます。やっちゃって、うまくいけば良いのですが、うまくいかなかった時に、誰がこんなものを入れたのかということになると、やはりこのメンバーで決めたのだからというだけでは済まされないとと思ひますので、そこらもしっかりと決めていきたくと思ひます。</p> <p>良いところばかりが見えれば行け行けになるのですが、メリット・デメリットをしっかりと精査して決めていくという形を、ぜひお願ひしたいと思ひます。</p>
議 長	ただいまのご意見に関して、事務局から何かございませんでしょうか。
事務局	イニシャルコストとランニングコストの話がありました。実際に上げている予算のどの部分かというご質問でしたが、1千万円のところについては、イニシャ

平成28年度 第3回江田島市公共交通協議会（平成29年2月22日）

<p>事務局 (続き)</p>	<p>ルコストと、1月（ひとつき）分のランニングコストが入っています。3月1日から入れるわけではなく、少しかかるかかからないかというくらいだと思っているのですが、予算計上的には1月（ひとつき）分を入れた形になっています。</p> <p>来年度以降どのくらいかかるのかというのが気になる場所だと思いますが、BUSit でタウンクリエーションへ払う金については、バスとおれんじ号、おれんじ号にも入れたいと思っており、それにより例えばデジタルサイネージをどこかの病院が置いてくれたときに、病院で待たれていて、あと5分したらおれんじ号が来ますという情報が出てくるので、そうすれば雨が降っていても少し距離があっても、その時間を見ながら出ることができるので、これから少し詰めなければならないところもあるのですが、どこまで入れるかというところによって変わってきます。今は最大限見ておまして、BUSit のシステム使用料は年間で72万円ほどかかると考えています。</p>
<p>議長</p>	<p>他に何かご意見ございませんでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>非常に利用促進のためには良い取組なので、ぜひ皆さんに使ってもらえるようにしてもらえたらと思います。導入に当たっての広報について、市民の方にどういった形での広報を考えているかというのが質問の1点目です。</p> <p>2点目は、使いながらご意見を聞き、改善をしていくのが大事なのではないかと思います。広島県内に入れましたが、表示方法についても何度か改善をしておりますので、ぜひそういうご意見を聞いて、改善をしていただきたいと思うのですが、その辺りはいかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>広報の方法ですが、前回の協議会でも議題にありました「公共交通マップ」、こちらの方に BUSit を導入しますということを、1ページほど割きたいと思っています。それから栈橋やゆめタウンといった所に BUSit のポスターを掲示したいと思っています。</p> <p>使いながらの改善について、市民の皆さんに周知することが特に大事であると事務局でも思っているのです、市民の皆さんの所へ出向いていく「出前講座」であるとか、広報誌であるとか、いろんなイベントの場面にも出て行きながら、そういった改善点や使い方の説明をしていきたいと思っています。</p>
<p>議長</p>	<p>他に、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今言われた表示の仕方ですけれども、一つはお年寄りの方が、先ほどのおれんじ号の話ですと使われていることが多いと思いますので、あまり派手派手しいものよりは、どちらかと言うと文字がはっきりと見えるとか、そういったところを、いろいろ何度かやり直さないといけないところもあると思いますけれども、ちょっと注意をしていただきたい。</p> <p>もう一つは、当然バスを使われている方ばかりではないので、ちょっと難しいところがあるんですけれども、音ですね、ちょっと工夫して音ないしは何かが出ると良いのかなど。どうしても見ているだけでは見逃している部分もあると思います。そこは工夫かなと思いますけれども。</p> <p>BUSit は多分ほとんど既製品の形になるので、なかなか難しいのかなとは思</p>

平成28年度 第3回江田島市公共交通協議会（平成29年2月22日）

<p>委員 (続き)</p>	<p>ますが、もし江田島市内のことだけを考えるのであれば、例えば携帯電話でバイブレーションを鳴らすとか。広島大学の先生がそういうシステムを作ろうかとやられていたことがあります。それは目や耳が不自由な方がバスに乗っているときに、次のバス停を確認するというときにバイブレーションで教えてもらうというシステムなんです、そういうものもお年寄りにもできるかなと思います。</p> <p>予算が限られていますので急にはなかなかできないとは思いますが、少なくとも今のシステムだと、何となくのイメージからすると、観光客の方や若い方が使われるけれども、せっかく実際に乗っておられる、どちらかというとお年寄りの方に、メリットは何かと考えたときに、先ほどの税金の話ではないですけど、「私たちには何もメリットがないから」という感じにならないようなことを、少し工夫をしないといけないかと思います。そういったバスに乗っている方にサービスができるようなことを、いろいろ考えられたらと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>BUSit は路線バスで使っているものであり、予約型乗合タクシーに導入したことがないということで、どういう風に見せるかというのは、実は昨日も話をしていました。言われるように、予算が決まっているところがあり、時間的な制約もあるので、できるところを今年度、導入の部分でも、今いただいたご意見を反映できるところは反映していきたい。また、来年度以降もまた改善できるところは改善していきたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>特に高齢化が進んでおりますので、高齢者の方にも使いやすいような、聞きやすいような、分かりやすいようなシステムでお願いしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>広島県内で広島県バス協会に加入している事業者が 108 社ありまして、その中で BUSit を導入されているのは8社くらいなんです、そういったところのメリット・デメリットなども、場所や交通環境も全く違うので参考にはならないのですが、やはり導入してみて、ここが良かったとか、これはちょっと考えた方が良かったとか、そういったところの情報収集も併せて最終的に江田島市はこうするんだというところを、資料として残していただければと思います。他社の状況も参考に、良い点は江田島市へ採用すれば良いと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>それでは事務局でご対応よろしく申し上げます。</p> <p>それでは資料3の平成28年度歳入歳出補正予算（案）につきまして、事務局で何かコメント、補足することがございましたら。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料3の関係で言いますと、先ほど申し上げましたとおり、市に一旦寄附をいただいて、負担金という形でこの協議会へいただいて、それを使って BUSit を導入するというところで、1千万円を歳入と歳出へ上げています。</p>
<p>議長</p>	<p>追加の説明がありましたが、よろしいでしょうか。1千万は大変多額でございますので、これを有効に活用していただきたいということでございます。</p> <p>他にご意見がなければ、この各案につきましてご了承を得たということで、よろしく申し上げます。</p>
<p>(4) 平成29年度事業計画・歳入歳出予算（案）について（資料4）</p>	
<p>議長</p>	<p>平成29年度事業計画・歳入歳出予算（案）につきまして、事務局からよろしく申し上げます。</p>

平成28年度 第3回江田島市公共交通協議会（平成29年2月22日）

事務局	－資料4により説明－
議長	このことについて、何かご意見、ご質問ございませんでしょうか。
委員	<p>来年度の事業について、国道487号線の交通量調査が上げられていますが、広島呉道路の仁保～呉中央区間について、NEXCO西日本と債務返済機構との協定によって中間完了予定日が平成32年11月28日で過ぎるようになっておりまして、翌日以降から、もしかしたら広島呉道路が無料になるとの情報があるんですけども、今後無料になった場合、江田島市を結ぶ航路についての、地域公共交通機関としての航路についても、影響が出てくるのかなということがありまして、そういったことも含めて、今後の第2音戸大橋の影響等の検討について、航路も含めていただけたらと、意見を出させていただきます。</p> <p>広島呉道路の無償化の可能性があるので、呉からの航路の輸送量に影響があげられるのかなということがあります。実際に第2音戸大橋ができたときにも、船の輸送量が減ったという事実がありますので、そういったところも含めて検討していただけたらと思います。</p>
事務局	<p>平成32年11月ということで、その時点での影響ということであれば、前もってある程度調査をしておかなければならないと思います。実際に運航事業者に乗降客数の調査などでご協力をいただいているのですが、そういったところの協力をいただきながら、できるところについてはやっていきたいと思っています。</p> <p>この事業計画に出ています国道487号線について、第2音戸大橋が開通してちょうど4年ということで、来年度やれば5年間ということになるのですが、少し傾向というのがはっきりと見えてくるかどうかというところです。年に1回の調査ではあるので、その辺りも今ご意見いただいたことも踏まえて、今後行くかどうかも含めて、皆様のご協力がないとできないことなので、また一緒に考えていきたいと思っています。</p>
議長	他に何かご意見ございましたら。
委員	<p>今回の事業計画の基本方針の中で「観光の強化による利用者の増加」を掲げられておられます。観光協会としても事業に関しては積極的に取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>その中で「評価と検証」と言われているので、この協議会として、事業者の方々にご協力いただいて、観光客や通学などの数量が別々になっているのですが、そういうものをいろいろ確認しながら、次の改善する方策を立てなければならないと思います。この数量について、事業者にある程度具体的に確認できるのでしょうか。事務局としてどう思われますか。</p>
事務局	<p>船やバスに乗っているお客さんの中で、観光客の方がどれくらいいらっしゃるか、その数を把握されているかということですが、当方へ教えていただいている内訳ではその部分はないのですが、いろんなところで相談させてもらいながら、できるところとできないところがあるかと思いますが、またその辺りも話をさせていただけたらと思います。</p>

平成28年度 第3回江田島市公共交通協議会（平成29年2月22日）

委員	<p>完全にはなかなか難しいと思いますが、ある程度把握しておかないと対策もとれませんので、そういうところも含めてご検討いただければと思います。</p>
議長	<p>事務局でご検討いただけるような資料が入手できれば、委員の皆さんに見ていただき、ぜひまた検討を加えていただきたい。その際はご協力をお願いします。</p> <p>他に何かご意見ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>先ほどから目標数値の把握という話で、旅客船利用者数の減少率だったり、観光客の話が出ていたりしますが、網形成計画を策定された中で「評価指標」というものがございまして、航路利用者の前年比減少率が平成32年度で3.5%以下にする、観光客であれば平成32年度に70万人にするという目標を設定していますので、毎年度これを見ながら、今どれくらいの位置にいるのかというのを把握しながら、来年度の事業計画を立てていただけたらと思います。</p> <p>可能であれば次回の会議でその辺の現状値を教えていただけたら、分かりやすいのかなと思います。よろしくお願いします。</p>
議長	<p>目標数値が現状ではどうなっているのかということの把握ですね、それをよろしくお願いします。他に何かございませんでしょうか。</p>
委員	<p>江田島市の観光に良いところが、なかなか車を使って行けるところしかなくて、バスを利用して行こうとすると、バス停もないし、バスの路線もないんです。観光客を70万人に増やそうということなんですが、増やすのであれば、公共交通を使ってもらわないといけません。</p> <p>今は50万人くらいなんですよ、江田島市に来ている人が。それを70万人、100万人にしたいというのが市の考えなんです。観光客を増やそうとすれば、まず江田島市に術科学校以外にどういうところが良いのかということ、もちろん皆さんが一生懸命やっているのですが、ここへ行く手段が、バスを使って行くことがほとんどできないんです。</p> <p>三高の砲台山というのが、明治の終わりにできた非常に良い砲台跡があるのですが、そこへ行こうとすると、バスを降りてそこまで3kmくらい山を登らないといけない。中町に紙布といって、紙で布を作っている業者がおられ、全国で2件か3件しかないんです。そんなところへ行こうとしても、バス停はないしバス路線も中町棧橋まで来て歩かなければいけない。みんな路線バスを使って行くのが非常に難しいところに観光の良いところがあるんですね。</p> <p>そのようなことから、観光のところへバスを使っていってもらおうとするのが非常に難しいところです。70万人と言っても、観光客を増やす手段が、自家用車か貸切バスでないと来られないということで、公共交通を利用していただく人を増やそうとすれば、ずいぶんの努力がいるし、道も上がれないようなところもありますので、1つの問題点だと思っています。</p>
議長	<p>ただいま委員が言われたようなことは、事務局でご検討いただきたいと思います。他に何かございませんでしょうか。</p>
委員	<p>目標3に「ICカード導入」と書いてあります。これを使った場合に、例えば広島市内だと市電の運賃が160円のところを、カードを使って150円で乗られるようになっています。江田島市でこれを導入した場合、やはりそういうような傾向</p>

委員 (続き)	になるのでしょうか。
事務局	<p>割引になるかどうかという意味ですね。まだそこまで話が及んではないのですが、実際に導入するとなると、例えば電車であれば乗るときと降りるときにカードをピッとやるということですが、船の場合だとお客さんがいろんなところから乗ってきて、いろんな方面へ散らばっていくとか、いろんな問題が実際にあります。事業者と話をさせてもらう中でそういった問題を解決していきたいのですが、まず PASPY の勉強をしてみましようということで、スタートしたばかりというところですが、それは言いながらも、前向きにやってみたいという事業者もおられます。</p> <p>将来的には、普通に考えれば、導入すれば回数券はなくなって、回数券の代わりに PASPY で電子処理されて、紙媒体のものがなくなるという効果も当然期待できるかと思います。</p> <p>具体的にこうなるというところまでは言えませんが、恐らくそうなるであろうということで回答させていただきます。</p>
議長	<p>他に何かご意見ございませんでしょうか。</p> <p>それではこのことについて、ご了承いただいたということで、取りまとめさせていただきます。</p>
4 その他	
・通学定期券購入補助事業について（資料5）	
議長	その他でございますが、資料5の通学定期券購入補助事業につきまして、事務局からご説明よろしくをお願いします。
事務局	－資料5により説明－
議長	ただいまの説明について、ご質問ないしはご意見をたまわりたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	<p>この事業の目的というのがここに書いてあります。江田島市の人口増につながれば一番良いのですが。</p> <p>例えば大柿高校などへ、通学する人はこういう補助があるということ、受験の要項のようなものへ、宣伝と一緒にしてもらおうということではできないでしょうか。こういうものがあるんですよということになれば、多少なりとも保護者の負担軽減にもなると思います。</p>
事務局	<p>ごもっともだと思います。新しくできる事業で、実際のところ今日初めて情報解禁になったということで、今年度の募集については間に合いません。来年度以降、大柿高校の募集があると思いますので、そのときには当然学校としても募集の説明会などを開催されますので、そういった場などを利用して PR して、入学者の増加につなげていきたいと思っています。</p>
議長	<p>というような、何かご意見がございましたら、いかがでしょうか。</p> <p>この補助金については、定住を促進するだけではなくて、通学者の促進ということで、各地域で取り組まれていることとございます。山口県と広島県との県境で、山口県からの通学者を増やそうと広島県が補助するとか、逆に山口県が補助</p>



平成28年度 第3回江田島市公共交通協議会（平成29年2月22日）

<p>議 長 (続き)</p>	<p>するとか、いろいろなケースがございます。何か知恵がございましたら、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、このことについて来年度から取り入れるということで、こういうことが進学者の説明会などで行われると大変良いのではないかと思います。皆様方のご反対が無ければ、このまま了承されたということで取り扱いたいと思います。</p>
<p>・その他</p>	
<p>議 長</p>	<p>その他のことで、ご意見ございませんでしょうか。</p> <p>連絡事項を事務局からお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回の協議会について、来年度の5月頃に、今年度事業の報告や決算などについてお謀りしたいと考えております。日程が決まり次第お知らせしますので、よろしくをお願いします。</p> <p>もう1点、この協議会の委員の任期が4年間で、今年度で満了ということになります。現委員の皆様へ、人事異動や役員改正があるかもしれませんが、基本的に現委員の皆様へ再任をお願いしたいと思いますので、依頼等ご相談をさせていただきたいと思います。よろしくをお願いします。</p>
<p>5 閉 会</p>	
<p>議 長</p>	<p>それではこのたびの第3回公共交通協議会を終わらせていただきます。長時間ありがとうございました。</p>